

ドロノキハムシ

2012年5月21日は日蝕の日でした。東京では金環日蝕で大騒ぎでした。札幌は部分日蝕なのでどうということもありませんが、初めて日蝕を見る若い方々には太陽系の現実事象を実感できる機会なので騒ぎとなるのは理解できます。

この日は恒例行事として年に1回実施している澄川都市環境林の市道路沿いの林内のゴミ拾いをやりました。参加人数が多かったので1時間程度で片付けました。今年のゴミの量は例年に比してやや少なく感じましたが、ペットボトルや缶飲料のポイ捨ては相変わらずで、マナーが改善された気配は感じません。これが現実なのです。



駐車場広場の雑草はみるみる伸びて、早めですが草刈をしたくなります。木々のやわらかい新緑がまぶしく輝いていました。ドロノキの葉に小さな赤い甲虫がとまっていました。ドロノキハムシです。若いドロノキがあたりに生えているのでこの虫がいるのは当然です。他にもポプラやヤナギの葉も食べるハムシの仲間です。ハムシうちではやや大きめの9ミリの前後、分布はユーラシア大陸の温暖域に広く分布しているようです。赤くて光沢もあり、やたらと目立つ装いです。やはり目立つことが護身術の典型例に思われます。毒を宿しているのか、食べても美味しくないのかのどちらかでしょう。

午後からはアイケンの森に転じて支柱用竹の採取かたがたタケノコ採りとなりました。しばらく手入れを怠っていますので通路は両側から笹に攻められ藪化寸前の様相でした。タケノコは参加者おのこの必要最大限が採れたようです。前年、前々年より5日ばかり早い収穫でした。タケノコを最後に春の山菜採りは終息します。5月は山菜の旬です。どこの森でも何らかの収穫があるので楽しみです。年を重ねるにつれて何処に何があるかがわかってきますので、効率よく採取できるようになります。毎年これら旬の味覚を楽しめるのも森林ボランティアの醍醐味であります。

